

# RSS連携機能 基本設計書

---

## 1. 背景・目的

本機能は、階上町からの要望に基づき、RSSフィードから情報を自動的に取得し、お知らせ・トピックス機能へ自動入稿する機能を、基盤システムの標準機能として実装するものです。

自治体が外部のRSSフィード（例：防災情報、気象情報など）を活用して、住民向けのお知らせやトピックスを自動的に更新できるようにすることで、情報更新の効率化と迅速な情報提供を実現します。

## 2. 機能概要

### 2.1. 機能の位置づけ

- **機能階層:** 第2階層機能
- **対応画面:** アプリ画面、管理画面なし（バックエンド機能のみ）
- **多言語対応:** 対象外（入力されるテキストが正であり、すべての言語に同じ内容を登録）
- **お知らせポップアップ表示:** 対象外

### 2.2. 主な機能

#### 1. RSS設定管理機能

- RSS配信元のURL、文字エンコード、改行コードなどの設定を登録・管理
- 投稿先（お知らせ/トピックス）の指定
- 掲載期間、カテゴリ、配信設定などの詳細設定

#### 2. RSS自動取得・入稿機能

- 定期的にRSSフィードを取得（5分間隔）
- 取得した情報をお知らせまたはトピックスへ自動入稿
- 重複チェック機能により、既存の情報の重複登録を防止

## 3. 機能要件

### 3.1. RSS設定管理

RSS連携を行うための設定情報を管理する機能を実装します。

#### 3.1.1. 設定項目

設定項目	説明	必須	備考
RSS 配信 URL	RSSフィ ードの配 信元URL	○	例： https://anshin.city.hachinohe.aomori.jp/anshinPub/rss/06/anshinanzen.rss

---

設定項目	説明	必須	備考
文字エンコード	RSSの文字エンコード形式	○	UTF-8 / Shift_JIS から選択。ただし、取得データに指定がある場合はそちらを優先
除外文字列	除去したい文字列パターン	-	正規表現で指定可能。RSSから一致する部分を除去
投稿先	お知らせまたはトピックスのどちらに投稿するか	○	お知らせ / トピックス から選択
掲載期間	掲載を継続する期間	-	掲載開始日時から起算。未指定の場合は無期限掲載
お知らせカテゴリID	お知らせに投稿する場合のカテゴリ	○ (お知らせの場合)	既存のお知らせカテゴリマスタから選択
配信グループID	配信対象グループ	○	既存の配信グループマスタから選択
配信種別	配信の種類	○	既存の配信種別マスタから選択
Push通知有無	Push通知を送信するか	○	有 / 無 から選択
LINEアカウントID	LINE連携する場合のアカウント	-	LINE連携しない場合は未設定
お知らせ本文テキスト	お知らせ本文に固定で挿入するテキスト	-	例：「このお知らせは〇〇からの転送です。」

設定項目	説明	必須	備考
詳細テンプレート	詳細欄に表示する内容のテンプレート	○	プレースホルダを使用してテンプレートを指定

## 3.2. RSS自動取得・入稿機能

### 3.2.1. 実行タイミング

- 5分間隔で自動実行されるバックグラウンドジョブとして実装
- 前回の実行が完了していない場合は、次回の実行をスキップ（シングルトン実行）

### 3.2.2. 処理フロー

1. 設定テーブルに登録されているすべてのRSS設定を取得
2. 各RSSフィードから最新情報を取得
3. 取得した情報について、タイトルと公開日時による重複チェックを実施
4. 重複していない情報のみ、お知らせまたはトピックスへ入稿

### 3.2.3. データマッピング

RSSフィードの各要素を、お知らせ・トピックスの各項目に以下のようにマッピングします。

RSS要素	マッピング先	備考
title	タイトル	RSSのタイトルタグをそのまま使用
description	詳細	テンプレートのプレースホルダに挿入
pubDate	掲載開始日時	RSSの公開日時をそのまま使用
-	掲載終了日時	掲載開始日時 + 設定された掲載期間
-	お知らせ本文	設定テーブルの「お知らせ本文テキスト」を使用（お知らせの場合）

### 3.2.4. 重複チェック

以下の条件で重複を判定し、既に存在する情報は入稿しません。

- タイトル（title）が同一
- 公開日時（pubDate）が同一

### 3.2.5. 文字数制限処理

- RSSから取得した文字列が、お知らせ・トピックスの入力文字数制限を超える場合
- 制限を超えた部分を「...」で省略して登録

### 3.2.6. 文字エンコード・改行コード処理

- 設定テーブルで指定されたエンコード・改行コードと異なるインプットが行われた場合
- 文字化けが発生する可能性があることを許容（設定ミスとして扱う）

### 3.2.7. 除外文字列処理

- 設定テーブルで指定された正規表現パターンに一致する文字列を、RSSから取得したテキストから除去
- 例：固定で表示される連絡先情報などを自動的に除去

## 3.3. RSSバージョン対応

- 本開発ではRSS 2.0を対象とします